

平成30年度 事業報告書



社会福祉法人 生活・文化研究所

法人本部

共同生活ホーム 移山寮

多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮

相談支援事業所 移山寮

目 次

I.	重点活動方針の実施状況	1
II.	実施事業	3
III.	地域における公益的な取組	3
IV.	法人本部	4
V.	共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	6
VI.	多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）	7
VII.	相談支援事業所移山寮（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）	9

I. 重点活動方針の実施状況

社会福祉法人制度の大改革によって、社会福祉法人は、非営利性・公益性にふさわしい経営組織の構築、組織・事業の透明性向上、地域における公益的な取組、質の高い人材の確保・育成に取り組むことが責務となった。本来事業である社会福祉サービスの提供にととまらず、地域にある様々な生活課題に視野を広げ、地域の福祉課題に積極的に取り組むことが求められている。

当法人では、中期経営計画（平成 28 年度～平成 30 年度）の内容を反映させた重点活動方針について、以下のような取組を行った。課題としていた非常災害計画・不審者対応、キャリアパス制度や人事労務規程の見直し等を行った。人材確保が当法人でも大変困難な状況になっており、業務の効率化、合理化をますます図っていく必要があると思われる。

1. サービスの質の向上

- 個別ニーズに基づいた個別の支援目標と振り返りを継続的に実施しエンパワメント支援を推進した。
- 支援の標準化を図るため業務マニュアル等を順次作成、見直しを行った。
- 改正個人情報保護法について職員全員研修会にて周知した。
- 苦情解決体制・虐待防止体制を推進。第三者委員の定期訪問及び相談日の設定、利用者・ご家族満足度調査の実施、全職員を対象に虐待防止研修及びチェックリストによる行動の振り返り等を行った。

2. 利用者の安全・安心の確保

- 感染症対応マニュアルの周知、非常災害時の伝達訓練、不審者対応訓練を実施した。
- 事故・ヒヤリハット事例の収集と周知、安全衛生点検等を実施し、衛生状態や危険個所のチェックを行った。
- 非常災害計画に基づく備蓄品等の整備については、次年度以降計画的に整備を進める。
- 外部研修（感染症予防対策、三戸地方保健所管内給食施設栄養管理研修会）に参加。

3. 地域交流、家族会・関係機関・団体との連携

- 新郷村チャレンジデー、五戸まつり見学、地域福祉施設イベントへの出演、地元小中高等学校との交流、販売活動等の機会を継続して設け、地域交流に取り組んでいる。
- ご家族様にはバス旅行や生産活動へのお手伝い、第三者委員定期訪問への参加等、事業所への来所の機会を設け、互いに協力し合える関係づくりに努めている。
- 市町村、社協、福祉事務所、地域自立相談窓口等の関係機関、及び育成会、五戸地区障害者地域生活推進協議会、五戸町商工会、青森県社会福祉施設経営者協議会等に加入し、情報収集・連携に努めている。

4. 職員の確保と定着、人材育成の強化

- 組織体制・キャリアパス制度・人事評価制度・任用制度の全体的な見直しを行った。キャリアパス研修の計画的な受講の明文化、資格取得者への資格手当を新設した。働きやすく

将来を見通せる仕組みづくりを目指し、今後も継続して検討していく。

- 法改正や法人の現状に合わせ、人事労務関係規程の見直しを行った。定年を 65 歳、再雇用を 70 歳に上げた。

5. 経営マネジメント力の向上

- 決算実務セミナー、指導監査対策セミナー、改正個人情報保護法・労務管理対応セミナー等に参加し、適正な事業運営の理解と対応に努めた。
- 国が行う「財務諸表等電子開示システム」「障害福祉サービス等情報公表制度」への対応や全国社会福祉法人経営者協議会ホームページへの情報登録、当法人のホームページへの掲載、事業所への備付け等を行い適正化に努めた。

6. 業務の合理化

- 昨年度、「支援記録・国保連請求ソフト」（NDソフトウェア、ほのぼの more）を導入し、入力作業や請求事務の確認作業を複数名で行う体制が整い、正確性・効率性が向上した。
- 平成 31 年 10 月から始まる消費税の軽減税率制度対応のため、生産活動の請求事務用の「販売管理ソフト」（OBCソフトウェア、商奉行 i10 NETWORK Edition Type NS 2）を導入した。（「生産性向上 IT 導入支援事業費補助金」を活用）
- 職員の勤怠管理ツール（タイムカード等）導入は次年度実施を進める。



H30.4 月 職員全員研修



H30.5 月 新郷村チャレンジデー参加



H30.6 月 家族会バス旅行



H30.9 月 民生児童員ジャガイモ収穫

II. 実施事業

<第二種社会福祉事業>

- 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）
サービス種類・定員：指定共同生活援助（介護サービス包括型）・定員5名
適用年月日：平成26年4月1日～平成30年9月30日
平成30年10月1日～平成36年9月30日

- 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
適用年月日	平成29年1月1日～平成34年12月31日	平成27年4月1日～平成33年3月31日
定員	10名	20名

- 相談支援事業所 移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））
サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業
適用年月日：平成26年4月1日～平成32年3月31日

<第二種社会福祉事業以外の事業>

- 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）
定員：8名
認定日：平成28年6月15日

III. 地域における公益的な取組

1. 生活困窮者就労訓練事業

三戸地域自立相談窓口等と連携をとりながら、生活困窮者への就労支援・中間的就労の場を提供。今年度は、受入なし。

2. 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

参加社会福祉法人として総合相談（トータルサポート）を行う。コミュニティソーシャルワーカー養成研修に参加しコミュニティソーシャルワーカーとしての基本的な視点や手法の習得に努めるとともに、活動説明会やタウンミーティングに積極的に参加し、情報の共有化を図った。

3. 地域への活動場所提供

子どもあそびの広場（五戸町放課後子ども教室推進事業）へ畑の一部を活動場所として提供している。春に植え付け、秋に収穫作業を行っている。

4. 地域住民対象の行事開催

年1回の移山寮収穫祭やグリーン・ツーリズム体験等を開催し、地域住民との交流や障害者への理解を深めてもらう機会としている。

5. 地域行事等への協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）や地域で行う事業等への参加・協力。（出店やステージ出演等）

6. ボランティア・職場体験等の受入

一般ボランティア、小・中学生の福祉職場体験、教育事務所 10 年次研修社会体験の受入れ。

IV. 法人本部

1. 理事会

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
5 月 28 日	5 名	2 名	平成 29 年度事業報告、計算関係書類及び財産目録、監事監査報告、定時評議員会の日時・場所・議題等
11 月 15 日	5 名	2 名	平成 30 年度補正予算案、(報告) 理事長職務執行状況報告
3 月 27 日	6 名	2 名	平成 30 年度補正予算案、平成 31～33 年度中期計画案、平成 31 年度事業計画案、平成 31 年度当初予算案、重要な職員の任免、職員の労務管理に関する事項、(報告) 社会福祉充実残額見込、規程類の改正

2. 評議員会

開催日	出席者数	主 な 議 案 等
6 月 18 日	評議員 7 名 (欠 0 名) 監事 2 名、理事 2 名	平成 29 年度計算関係書類及び財産目録、監事監査報告、(報告) H29 年度事業報告

3. 監事監査会

日 時：平成 30 年 5 月 21 日 13:00～

場 所：移山寮本館 多目的室

出席監事：2 名

立会い者：理事長、理事（監事）、事務職員

4. 施設整備・備品等の購入

<その他の固定資産、備品等>

月	品目	目的	金額
4月	車両整備（ティータ）	送迎用（利用者増による）	401,330円
9月	車両整備（ラクティス）	送迎用（老朽化に伴う買換え）	580,000円
11月	車両整備（ミライース）	計画相談用	550,000円
1月	販売管理ソフト（OBCソフトウェア、商奉行i10）	生産活動の請求事務用	853,200円

5. 職員配置（H31.3月末現在）

区分	職名	常勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活ホーム移山寮	管理者	1名			
	サービス管理責任者	兼1名			
	世話人		2名	1.0	
多機能型障害福祉サービス事業所移山寮	管理者	兼1名			
	サービス管理責任者	1名			
	生活介護	嘱託医師		(1名)	(0.1)
		看護職員		1名	0.3
		生活支援員	1名		
	B型	職業指導員	1名	10名	5.3
		生活支援員	1名	1名	0.6
		目標工賃達成指導員	1名		
		調理員		2名	1.2
		送迎担当者		3名	0.6
	事務職員	1名	1名	0.6	
相談支援事業所移山寮	管理者	兼1名			
	相談支援専門員	1名			
合計		9名	20名	9.0	

6. 苦情受付状況

件数：0件

7. 事故発生状況

件数：6件

内容：利用者のケガ（蜂被害1件、転倒による骨折1件）、
車両接触（3件）、ガラス破損（1件）

V. 共同生活ホーム 移山寮（共同生活援助）

- 入居者5名のうち1名は4月2日より農事組合法人くらいしへ就職し、他は当法人の就労継続支援B型3名、生活介護1名利用。農事組合法人に就職した1名は平成30年11月10日で退職となり、平成31年3月31日まで当法人の就労継続支援B型を利用、仕事に取り組んだ。
- 2名の世話人が連携し、利用者の毎日の食事提供、小遣帳記入、生活面、健康面等に一人ひとりの特性に配慮しながら、大きなトラブルもなく過ごすことができた。
- 入居者一人ひとりのサービス利用計画をもとにアセスメントを実施、個別支援計画立案、モニタリングを行って一人ひとりの抱える課題解決に取り組み、よりよい生活を送れるよう月一度活動状況を見ながら今後のあり方を進めるための想いを語り合っていく。
- 町内会の環境整備活動や月一回のリサイクル活動、希望者は五戸まつりにも参加し、地域交流を図っている。

1. 利用者の状況（H31.3.31現在）

定員	利用者数	平均年齢
5名	5名	51歳

2. 開所日数と利用状況（H31.3.31現在）

※平均利用者数 5.0 人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	150	155	150	155	155	148	155	150	155	155	140	155	1,823人

3. 主な年間行事

博労町自治会リサイクル活動	年10回	4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、3月
入居者会議	年6回	4月、6月、8月、10月、12月、2月
誕生会	年4回	8月、11月、1月、3月
利用者健康診断（B型と合同）		8月
協力医定期健診（B型と合同）		7月、2月
消防訓練		8月、12月

VI. 多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮（生活介護・就労継続支援 B 型）

平成 28 年 1 月に生活介護を新設し、多機能型事業所となって 3 年 3 か月が経過した。利用者数は生活介護 10 名、就労継続支援 B 型 28 名の計 38 名となった。

生活介護では 3 年目を迎えて、利用者の生活リズムも確立してきている。個々の利用者の生活リズムに沿って本人らしい生き方が出来るような支援を心がけた。又、利用者のニーズも多種多様になってきており、一人ひとりの想いに寄り添った支援を行った。

就労継続支援 B 型では、個々の強みを生かした利用者中心の生産活動に取り組んだ。「加工、受託、農業、手芸、郷土館カフェ」の 5 種類の生産活動の中からそれぞれが得意な仕事を選び、働く力と工賃の向上に結び付いている。

また、コムラ醸造では、働くことに対する自信や意欲が出て来ており、施設外就労支援を行った。

11 月末には一般就労へ 1 名を繋げることができた。更に地域の活動づくりが進むよう地域の方々とも協力して進めていきたい。

1. 利用者の状況（H31. 3. 31 現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	住居のある地域
生活介護	10 名	10 名	56 歳	五戸
就労継続支援 B 型	20 名	28 名	43 歳	五戸、新郷、十和田、八戸

2. 開所日数と利用状況（H31. 3. 31 現在）

＜生活介護＞ ※平均利用者数 5.8 人/日 [前年度比 86.9%]

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
サービス提供日数	20	21	22	21	19	18	21	21	20	20	20	20	243 日
サービス提供延数 (1 日の利用者数合計)	130	131	112	121	117	104	117	126	121	89	118	134	1,420 人

※前年度平均利用者数・・・6.7 人

＜就労継続支援 B 型＞ ※平均利用者数 20.0 人/日 [前年度比 106.0%]

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
サービス提供日数	24	24	30	27	26	27	28	26	27	23	21	26	309 日
サービス提供延数 (1 日の利用者数合計)	472	547	563	553	499	461	534	549	510	494	496	508	6,186 人

※前年度平均利用者数・・・18.9 人

3. 主な年間行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4月	入所式 家族会総会・事業説明会	
5月	交通安全・美化活動 熱中症等予防啓発・健康測定	民生児童委員来所じゃがいも植え 新郷村チャレンジデー参加 ※「あそびの広場」へ活動場所の提供
6月	第三者委員定期訪問&相談日① 消防訓練① 家族会バス旅行（青森市） ごのへ郷土館カフェオープン	さくら荘ふれあいフェスタ出演 (スコップ三味線)
7月	利用者自主活動（買い物学習） 協力医診察①	
8月	大掃除 第三者委員定期訪問&相談日② 利用者健康診断 五戸まつり見学	三八教育事務所10年次研修（7名）
9月	利用者会議	川内中学校福祉体験学習 五戸町民生児童委員ジャガイモ収穫 グリーンツーリズムシソの実収穫体験（1名） 五戸高校シソの実収穫ボランティア 家族会シソの実収穫の手伝
10月	消防訓練② 収穫祭バザー	切谷内小学校来所ボランティア 障害者地域生活推進研修会・体験発表 福祉バザー&演芸会（出演・見学）
11月	インフルエンザ予防接種（田中医院）	
12月	利用者会議 大掃除	三戸郡育成会愛の輪レク参加 マックスパル北園店よりお菓子寄贈
1月	新年会	五戸町社会福祉大会見学
2月	利用者会議 協力医診察（田中医院）② まける市見学（買い物学習） 第三者定期訪問&相談日③	ふれあいフェスティバル参加

VII 相談支援事業所 移山寮（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）

【総括】

平成 26 年 4 月から相談支援事業所を開所し4年が経ちました。平成 30 年 12 月に前任者が退職され業務を引継ぎ三戸、南部町、倉石方面、障害児担当を各事業所へ振り分けましたが、三戸町障害児6名が移山寮にお願いしたいと言われ引き継ぎました。また、その後にも五戸町、十和田市方面の新規希望者があります。

新規契約者についてはサービス利用者本人、ご家族の希望に応じ実施できるように努めています。

契約者数は、平成 31 年 3 月 31 日現在障害者・障害児併せて 76 件です。内訳は田子町 3 件、三戸町 6 件、南部町 2 件、新郷村 3 件、階上町 1 件、八戸市 3 件、五戸町 58 件となっています。

1. 計画作成状況 ※請求月基準

<障害者>

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	24	26	14	8	72
モニタリング	36	70	92	37	235
合計	60	96	106	45	307

<障害児>

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	6	6	3	0	15
モニタリング	12	11	19	1	43
合計	18	17	22	1	58